

環境経営に対する基本姿勢

三菱地所(株)は、1997年12月に企業行動全般にわたる「三菱地所行動憲章」を制定しました。その第3条に「地球環境への配慮」を掲げ、この基本理念に基づき、1998年5月に「三菱地所環境憲章」を定めました。2000年12月には総合デベロッパーとしてはじめて環境報告書を発行し、以後毎年継続発行しています。2002年8月に行動憲章を「三菱地所グループ行動

憲章」としてグループで共有し、2004年5月、従前の環境憲章を見直し、対象範囲をグループ(2004年8月現在46社)に拡大した「三菱地所グループ環境憲章」を制定しました。グループ全社員がこの内容を理解し、実践することによって、三菱地所グループは社会的責任を果たしてまいります。

三菱地所グループ行動憲章

基本使命

「まちづくりを通じての真に価値ある社会の実現」

私たちは、住み・働き・憩う人々の立場に立って、安心、安全、快適で魅力あふれるまちづくりを各地で展開し、真に価値ある社会の実現に貢献します。

行動原則

第1条 社会とのコミュニケーション

第2条 良き企業市民としての行動

第3条 地球環境への配慮

第4条 公正で信用を第一とする行動

第5条 法令遵守・反社会的勢力との関係遮断

第6条 グローバルな視野での経営

第7条 意欲・能力を発揮できる企業環境づくり

第8条 役員・幹部社員の責務

三菱地所グループ環境憲章

環境理念

三菱地所グループは、環境への配慮と環境負荷の低減に努め、まちづくりを通じて持続可能な社会の実現を目指します。

行動指針

1. 環境法規制の遵守

環境法令・規則を遵守し、環境保全に努めます。

2. 省資源・省エネルギーの推進

資源、エネルギーの効率的な利用を積極的に推進するとともに、再生可能エネルギーの利用に努めます。

3. 循環型社会形成への寄与

企画・開発・設計・施工・運営管理・解体などまちづくりの全ての段階において、廃棄物の抑制、再利用、再生利用に努め、循環型社会の形成に寄与します。

4. 環境管理体制の整備

環境活動の継続的改善を図るため、環境管理体制を整備します。

5. 環境教育・啓発活動の実施

社員の環境保全意識の向上を図り、実効性の高い環境活動を実践するため、環境教育、啓発活動を実施します。

6. 環境情報の公開

三菱地所グループ環境憲章の公開をはじめ、環境情報の開示に努めます。

平成16年5月1日

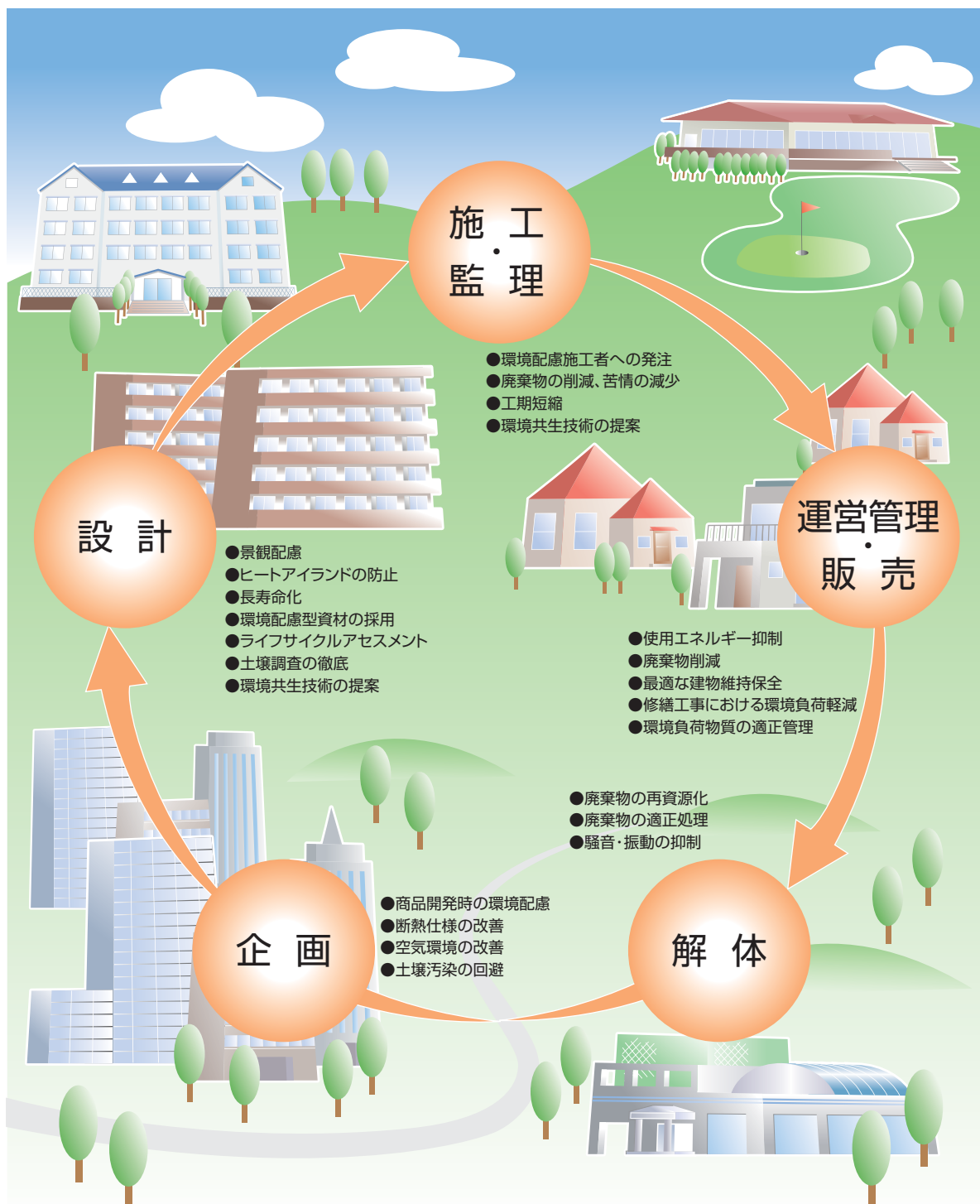
三菱地所グループの街づくりと環境への取組み

三菱地所グループは、ビル事業、住宅開発事業、設計監理事業、資産開発事業、海外事業、注文住宅事業、ホテル事業、余暇事業など、多岐にわたるさまざまな不動産ビジネスを手がけています。

企画から解体までの各段階で発生する環境負荷を認

識し、“生涯”を通じた環境負荷の低減に努めることが総合デベロッパーとしての責務です。

三菱地所グループは、今後ともグループの総合力を生かし、街づくりを通じて持続可能な社会の実現をめざします。



三菱地所グループの環境経営推進体制

三菱地所(株)は、1995年より環境に関する社内横断的な組織を設け、1998年に「地球環境委員会」(2000年より社長が委員長)を設置しました。2003年にはグループ会社も含めた主要な事業領域の長をメンバーとする「環境経営委員会」に改組し、下部組織として、より実効性のある環境活動を行う「環境管理委員会」を設けています。2004年5月に、環境管理の基本的な事項を定めた「三菱地所グループ環境管理規程」を制定し、グループ各社に環境管理責任者を置いて、環境管理を計画的かつ効率的に行うための体制を整備しました。



▲2004年度環境経営委員会(7月開催)

環境経営委員会

委員長	三菱地所(株)社長
副委員長	三菱地所(株)企画管理本部長
委員	三菱地所(株) ビル事業本部長・副本部長 住宅開発事業本部長・副本部長 資産開発事業本部長・副本部長 企画管理本部副本部長 (株)三菱地所設計社長 三菱地所ホーム(株)社長 (株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ社長 (ISO14001の認証取得グループ会社も参加)
事務局	三菱地所(株) 企画管理本部 社会環境推進室

環境管理委員会

各組織ごとに設置

三菱地所(株)における環境教育

eラーニング

2004年2月に、非管理職の社員のうち2003年度昇格・昇級者、職掌転換者、新入社員の計123名(一部出向者も含む)を対象に、環境問題及び環境マネジメントシステムについてのeラーニング(パソコンを利用した学習)を実施しました。eラーニングは集合研修に比べて移動、教材が不要のため環境負荷低減に資し、コスト削減とともに受講者の都合に応じて学習でき、業務への影響が軽減されます。教材は全4章の構成で、各章ごとにテストを設け、全テスト合格の修了者は114名(92.7%)でした。

環境キャンペーン



▲環境キャンペーン

社員の環境問題への意識啓発のため、6月5日の「環境の日」に合わせ、毎年「環境キャンペーン」を

開催しています。2003年度は6月3日～6日に「新エネルギーと省エネ」をテーマに、燃料電池や太陽光発電の模型展示、エネルギー問題と省エネ活動に関するパネル展示を行い、役員、社員126名が来場しました。また、展示会に先立ち6月2日には燃料電池に関する講演会を実施し、役員、社員52名が参加しました。

環境報告書の社内説明会

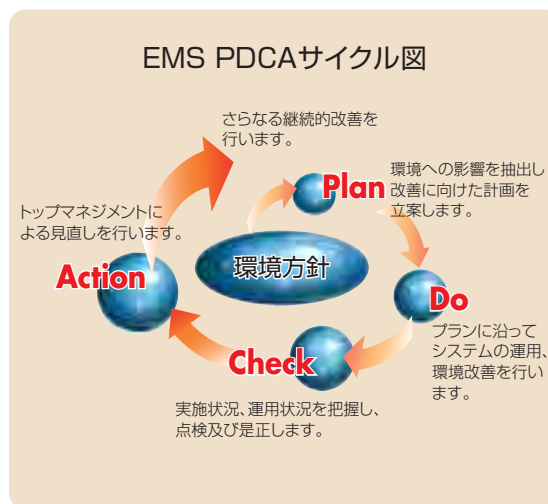
2003年9月発行の「環境報告書2003」は全社員に配布しましたが、より社員の理解を深めるために、2003年11月～12月の3日間に、部署長をはじめ56名に対し、グループの環境活動、環境に関する最新動向などについて社内説明会を開催しました。



▲環境報告書の社内説明会

環境マネジメントシステム (EMS) 構築状況及び今後の展開

1999年6月、総合デベロッパーとしてはじめて、三菱地所(株)ビル事業本部ビル管理運営部署においてISO14001の認証を取得しました。2004年3月末現在で、三菱地所グループは6組織においてISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルを回しながら継続的改善に努めています。また三菱地所(株)企画管理本部が2004年5月にISO14001に準じたEMSを導入し、(株)横浜スカイビルが同年10月のISO14001認証取得に向けて取組みを進めています。今後もグループの環境負荷を把握し、ISO14001の認証を取得する組織と、ISO14001に準じたEMSの導入・運用を行う組織との方向性を考慮しながら、EMSの構築拡大を進めていきます。



三菱地所グループ ISO14001 認証取得状況 (2004年3月末現在)

組織名	認証取得年月日	更新年月日	審査登録機関
三菱地所(株)ビル事業本部	1999年6月17日	2001年12月27日 (2003年11月28日拡大) ^{※1}	KPMG審査登録機構
三菱地所(株)住宅開発事業本部	2002年11月27日 (2003年11月21日拡大) ^{※2}		KPMG審査登録機構
三菱地所コミュニティサービス(株)	2003年2月5日		KPMG審査登録機構
(株)三菱地所設計	2002年1月31日		日本能率協会
三菱地所ホーム(株)	1999年9月27日	2002年9月27日	日本建築センター
(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ (株)ロイヤルパークホテル	2004年3月29日		トーマツ審査評価機構

※1 対象をビル管理運営部署にビル開発部署を加えて拡大 ※2 対象を本社に横浜支店を加えて拡大

三菱地所グループ ISO14001 認証取得推進状況 (2004年8月末現在)

